

工事だより

2025年 春号



■事業の概要

堤防のかさ上げを目的として、京成本線荒川橋梁の架け替えを行います。

高度経済成長期の地下水の過剰汲み上げにより広域的な地盤沈下が生じ、それにより低くなってしまった堤防はかさ上げされましたが、京成本線荒川橋梁との交差部は橋梁が支障となり堤防のかさ上げが出来ないため、周辺の堤防に比べて低い状態となっています。

そのため、新しい橋に架け替え、現在の橋を撤去した後に堤防のかさ上げを行うことで、治水安全度の向上を図ります。



■工事概要

【令和7年度の各工区の主な工事内容】

1工区	(工事箇所) 足立区千住関屋町～足立区柳原一丁目 (工事内容) 本設ホーム、P4橋脚構築、R2高架橋構築 他
2工区	(工事箇所) 荒川河川区域内 (右岸) (工事内容) P5・P6-1橋脚変状対策及び鋼管矢板基礎 他
3工区	(工事箇所) 荒川 (左岸) 及び綾瀬川河川区域内 (工事内容) P6-2橋脚鋼管矢板基礎、P6-3橋脚躯体築造、C橋脚変状対策 他
4工区	(工事箇所) 葛飾区堀切四丁目 (工事内容) 土留擁壁構築、仮線用橋脚構築工 他



事業の詳細はこちらから

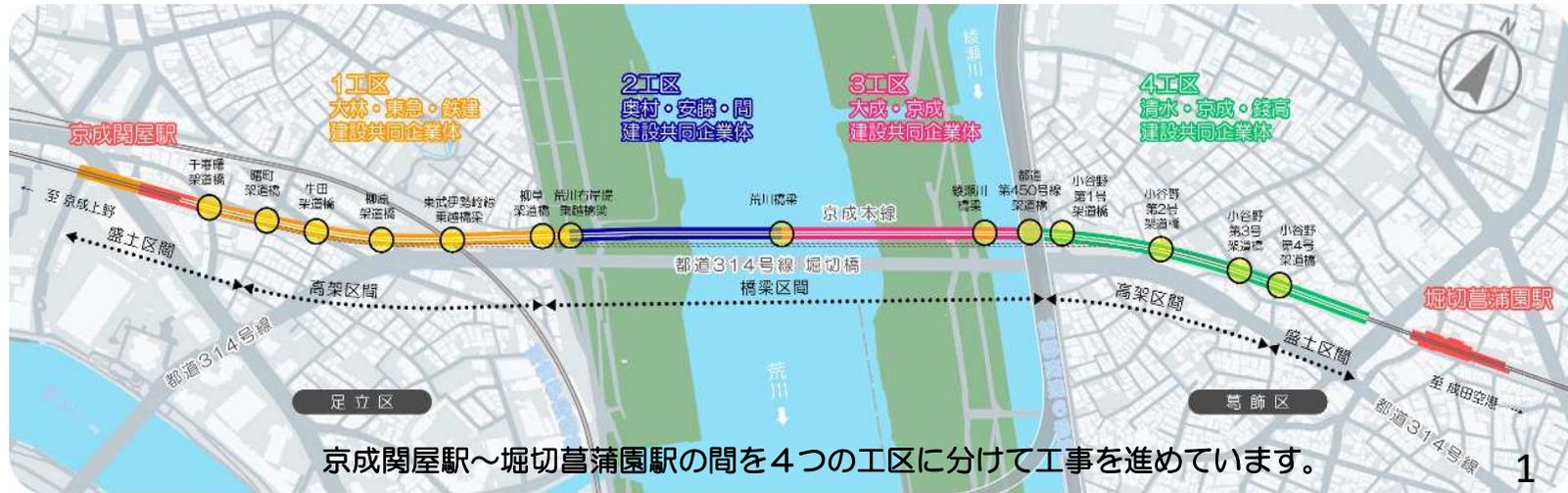
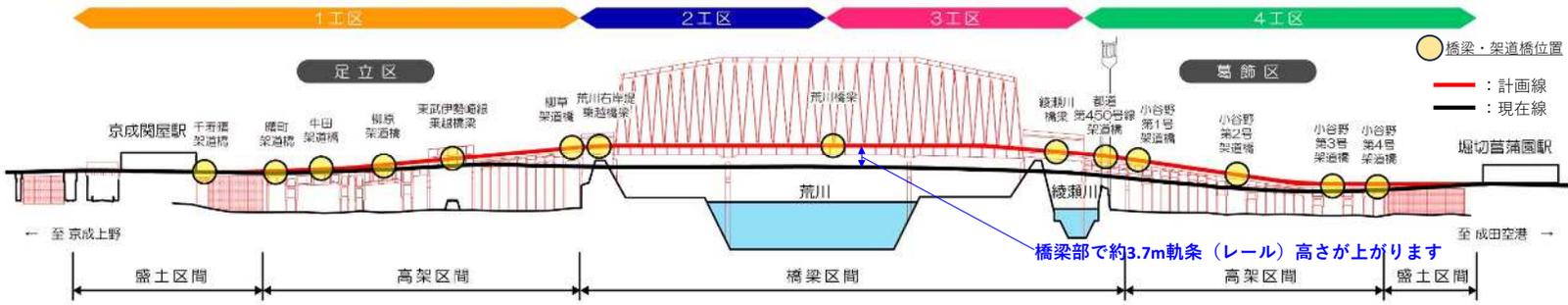
足立区側 京成関屋駅～荒川右岸堤防アプローチ区間



河川部 荒川右岸堤防～綾瀬川橋梁



葛飾区側 綾瀬川橋梁～堀切菖蒲園駅アプローチ区間



京成関屋駅～堀切菖蒲園駅の間を4つの工区に分けて工事を進めています。

●工事内容（足立区側アプローチ部） 京成関屋駅のホーム移設工事、新しい高架橋を作るための基礎工事等を行っています。



カメラ-1

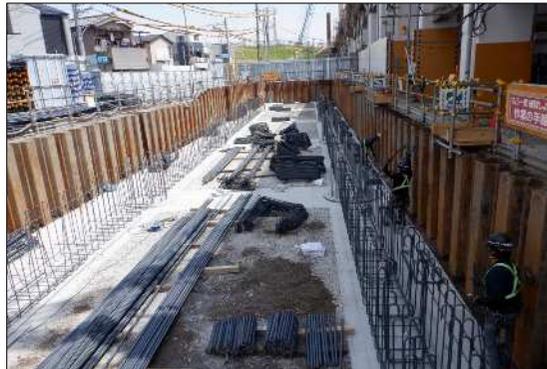
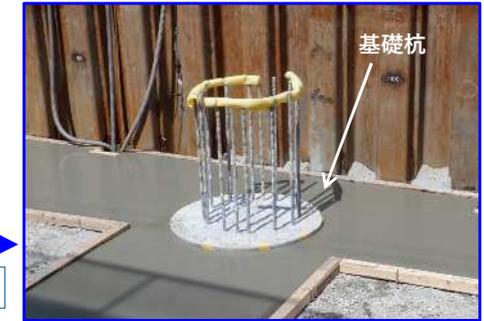
新しい高架橋の基礎杭工事が完了し、地中部の構造物を作るための、砕石敷均し作業を行っています。



カメラ-2

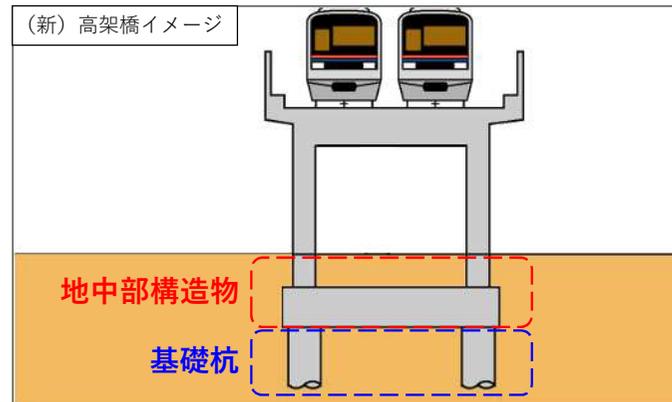
地中部の構造物を作るための、均しコンクリート打設作業を行っています。

拡大

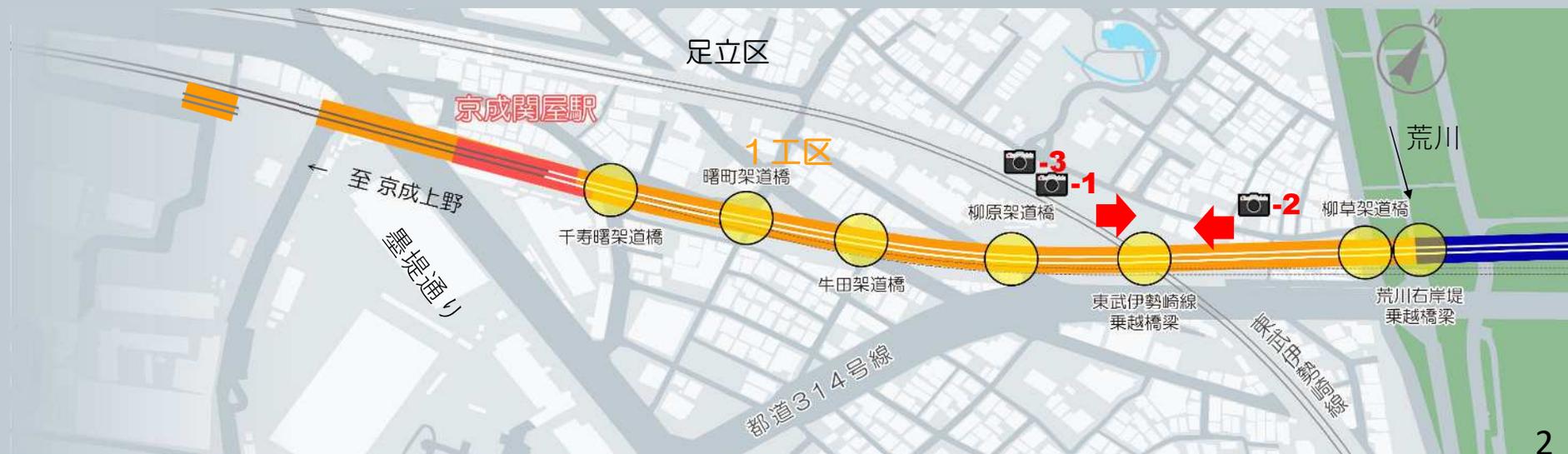


カメラ-3

地中部構造物の強度を保つため、鉄筋の組立作業を行っています。



工事の概要は↑こちらから



● 工事内容 (河川部：右岸側)

P5橋脚の鋼管矢板基礎杭を施工しています。



📷-1

鋼管矢板杭を台船で、荒川から運び入れる作業を行っています。



📷-2

鋼管矢板杭を圧入する際に出る濁水処理する設備の設置作業を行っています。



📷-3

P5橋脚鋼管矢板杭圧入前の準備（作業スペース等）の設置作業を行っています。



📷-4

P5橋脚鋼管矢板杭の圧入作業を行っています。



工事の概要は↑こちらから

● 工事内容 (河川部：左岸側)

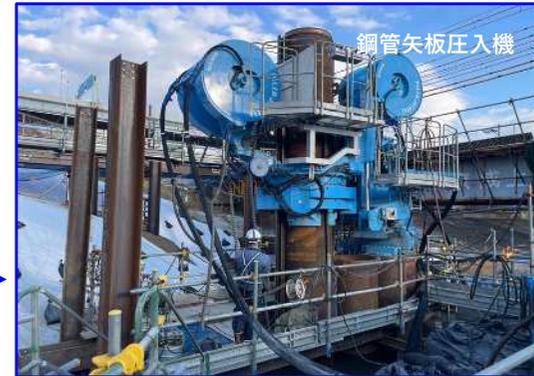
P6-3橋脚の鋼管矢板基礎及び既設C橋脚防護を施工しています。



カメラ-1

P6-3橋脚鋼管矢板基礎杭圧入作業を行いました。

拡大



カメラ-2

鋼管矢板圧入機



カメラ-3

既設橋脚を防護する、鋼矢板圧入作業を行っています。

鋼矢板圧入機



カメラ-4

工事現場美化活動の一環として、ゴミ拾いを行っています。



工事の概要は↑こちらから

● 工事内容（葛飾区側アプローチ部）

線路脇の盛土を撤去するための準備工事（土留め杭の設置）等を行っています。土留め杭設置は軌道内の作業のため、終電～初電の間（深夜）に行っています。



📷-1

鋼管杭の圧入後の設置状況です。この杭で、今後仮上り線を支えます。



📷-2

工事で使用する資機材等が、一般道に落下しない様に、仮囲いや防護ネットで養生しています。



📷-3

作業中は、常に交通誘導員を配置して、安全作業を行っています。



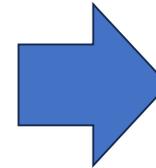
📷-4

住宅の近くでは、防音シートを仮設して、土留杭設置作業を行っています。

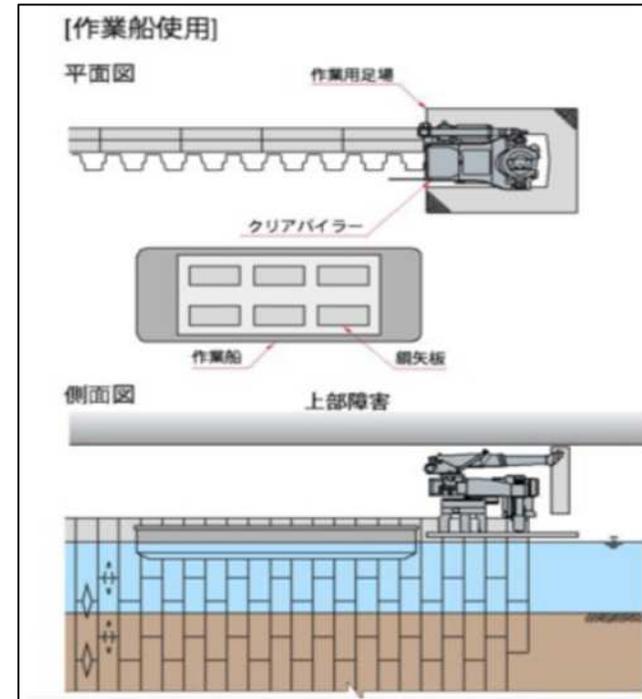


工事の概要は↑こちらから

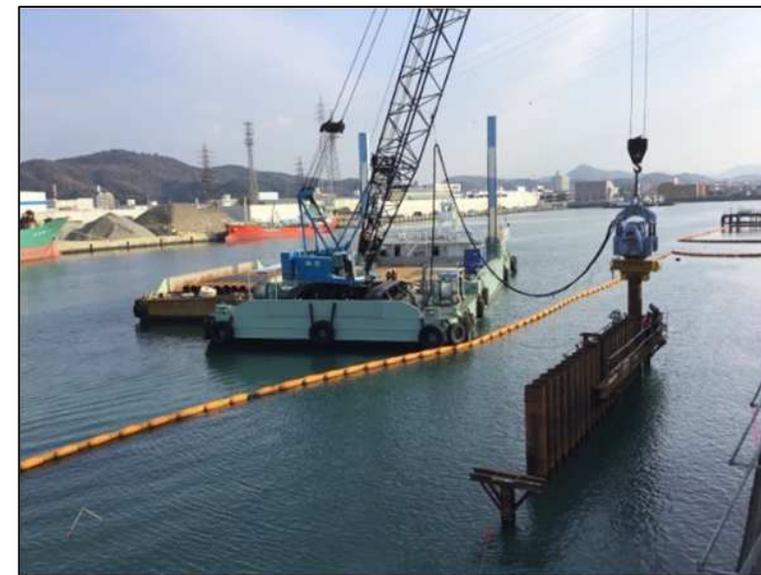
◆ 上部障害クリア工法（クリアパイラー工法）



【クリアパイラー工法】



【通常：クレーン台船による施工】



- 新しい綾瀬川橋梁の橋脚施工にあたり、既設の京成本線綾瀬川橋梁C橋脚への影響を防ぐため、橋脚の周りに鋼矢板による防護工を施工します。
- 施工箇所の上空には橋梁（障害物）が有るため、通常行われるクレーン台船による鋼矢板打設工法では施工できないため、クリアパイラーによる圧入施工をしています。